

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 14 日 (2017.9.14)

【公開番号】特開 2016-49321 (P2016-49321A)

【公開日】平成 28 年 4 月 11 日 (2016.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2016-022

【出願番号】特願 2014-176843 (P2014-176843)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 7 日 (2017.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

円盤形状の光学部と前記光学部の外周部分から外側に延びる少なくとも 1 つの支持部とを備える眼内レンズを押し出すための通路を有し、前記通路は、前記眼内レンズの押し出し方向の先端へ向かうにつれて内径が徐々に小さくなる挿入路を備え、前記通路内にて前記眼内レンズを前記光学部の中心軸方向の一方の面が前記通路の底面と対面するように配置し、前記眼内レンズを押し出すことにより前記挿入路内にて前記光学部を折り曲げると共に、前記支持部を前記光学部の外周部分の内側に折り畳み、前記眼内レンズを患者眼に挿入する眼内レンズ挿入器具であって、

前記通路内に配置される前記眼内レンズの前記光学部の径方向であり、かつ、前記眼内レンズの押し出し方向に対して垂直な方向における両側の位置にて、前記通路の底面側に向けて突出する一对の突起を有し、

前記眼内レンズを前記一对の突起により前記通路の底面側に押さえること、
を特徴とする眼内レンズ挿入器具。

【請求項 2】

請求項 1 の眼内レンズ挿入器具において、

前記眼内レンズを押し出す押出部材と、

前記押出部材の押し出し方向を案内する案内部と、

前記案内部の一方の壁面を構成する第 1 案内突起と、

前記案内部の他方の壁面を構成する第 2 案内突起と、を有し、

前記通路内に配置される前記眼内レンズの前記光学部の径方向であり、かつ、前記眼内レンズの押し出し方向に対して垂直な方向について、前記一对の突起は、各々、前記第 1 案内突起と前記第 2 案内突起に対して外側の位置に形成されていること、

を特徴とする眼内レンズ挿入器具。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 の眼内レンズ挿入器具において、

前記眼内レンズは、前記通路内にて前記眼内レンズの押し出し方向の前方に配置される前記支持部である前方支持部と、前記通路内にて前記眼内レンズの押し出し方向の後方に配置される前記支持部である後方支持部と、を備え、

前記眼内レンズの押し出し時には、前記前方支持部と前記後方支持部が各々前記光学部

の外周部分の内側に折り畳まれ、

前記眼内レンズの押し出し方向について、前記一对の突起の後方の端部は、前記後方支持部の折り畳みが完了したときに前記光学部が配置される位置よりも前方の位置に形成されていること、

を特徴とする眼内レンズ挿入器具。